

全般、事業規模別ともに悪化

(株)エンタテインメントビジネス

総研はこのほど、第61回パチンコ

景気動向指数(DI)調査報告書

(4～6月)をまとめた。収益・売

上・粗利などから判断される全般的業況はマイナス43・4ポイントで、前回より22・3ポイント悪化した。また、マイナス圏での推移

は2011年12月時点以降15期連続となった。3か月後はさらに悪化が予想されている。(表1) 事業規模別では、小規模事業者(1～3店舗)がマイナス71・4ポイント(前回比18・1悪化)、中規模事業者(4～10店舗)がマイナス35・3ポイント(同4・3悪化)、大規模事業者(11店舗以上)がマイナス33・3ポイント(同7・0悪化)と、全事業者で悪化し、とくに小規模事業者の落ち込みが目立った。(表2)

遊技くぎ問題 業界にとって悪い39%、良い31% 遊技くぎや一般入賞口への入賞個数の不正な取り扱い等をチェックするため、遊技産業健全化推進機構の「遊技機能調査」が6月から始まっているが、その影響を《業界にとって》と《自社にとって》の2通りで聞いた。《業界にとって》では「悪い」が39・2%で最も高く、次いで「良い」31・4%、「どちらでもない」29・4%だった。「悪い」理由は、「今までの営業形態を全否定し、業界の死活問題」(関東・大規模事業者。ほか6事業者)、「本来、くぎ整備は面白かったはずだが、こうなるとはテレビゲームと同じ」(四国・中規模事業者)など。一方、「良い」理由は、

表1 ●全般的業況 (事業者全体)

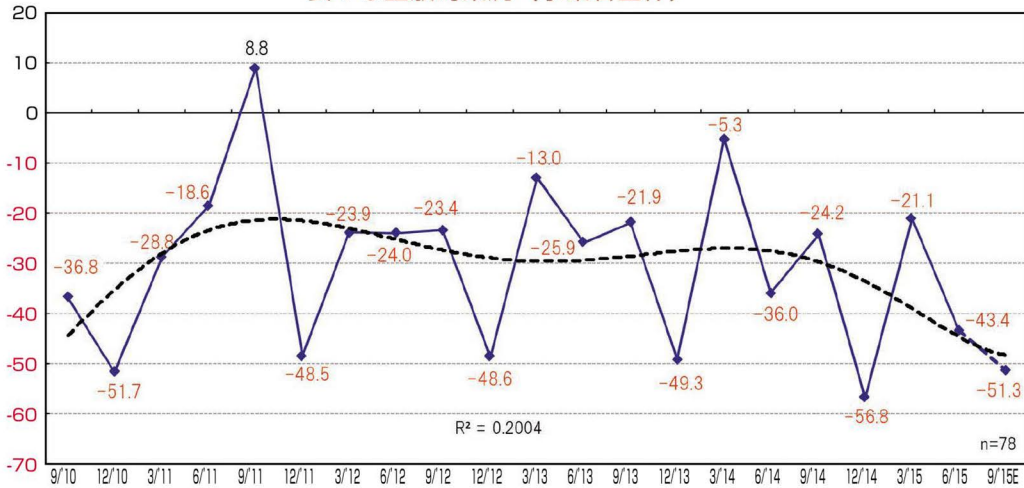
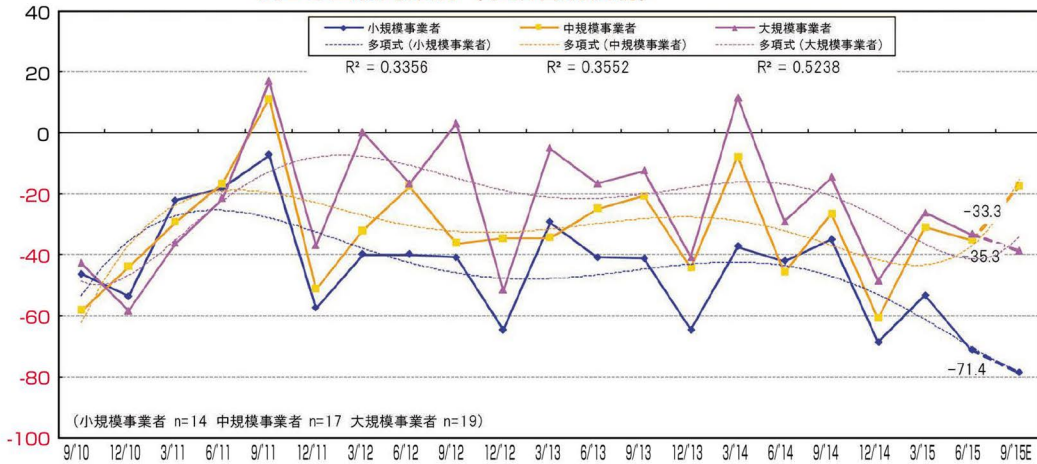


表2 ●全般的業況 (事業者規模別)



「低貸」がマイナス圏に

パチンコ・パチスロ別の稼働状況では、パチンコはマイナス52・6ポイント(同35・9悪化)、パチスロもマイナス39・7ポイント(同20・8悪化)で、双方とも下降した。(表3)

貸玉/貸メダルの料金別の稼働状況では、4円パチンコはマイナス64ポイント(同22・4悪化)、20円パチスロはマイナス45・5ポイント(同28・5悪化)だ

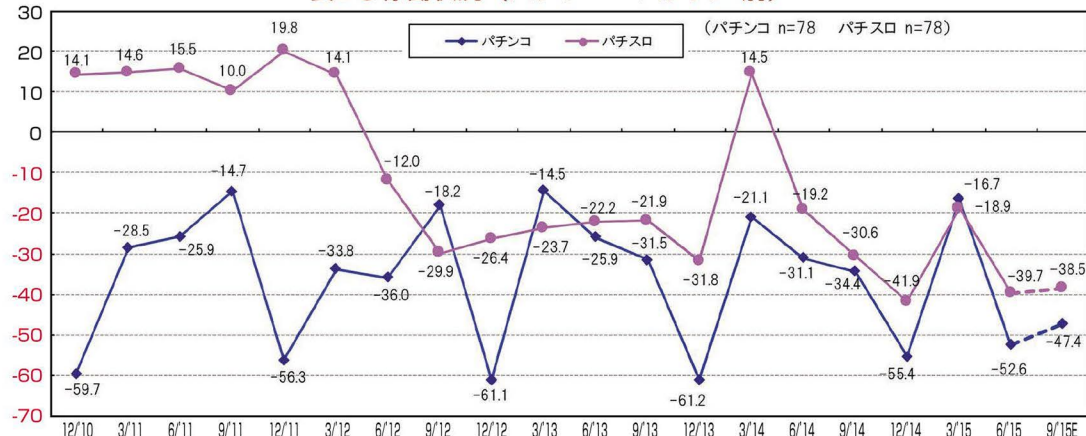
遊技くぎ問題 業界にとって悪い39%、良い31%

遊技くぎや一般入賞口への入賞個数の不正な取り扱い等をチェックするため、遊技産業健全化推進機構の「遊技機能調査」が6月から始まっているが、その影響を《業界にとって》と《自社にとって》の2通りで聞いた。《業界にとって》では「悪い」が39・2%で最も高く、次いで「良い」31・4%、「どちらでもない」29・4%だった。

「悪い」理由は、「今までの営業形態を全否定し、業界の死活問題」(関東・大規模事業者。ほか6事業者)、「本来、くぎ整備は面白かったはずだが、こうなるとはテレビゲームと同じ」(四国・中規模事業者)など。一方、「良い」理由は、

「健全化の一環として前向きにとらえるべき」（関東・大規模事業者。ほか5事業者）、「等価や高価交換営業からのシフトのきっかけになればよい」（中部・中規模事業者。ほか2事業者）などとなっている。

表3●稼働状況（パチンコ・パチスロ別）



「良い」は11・8%と《業界にとって》「悪い」は41・2%と最も多く、「悪い」が41・2%で続き、

自社にとって 悪い41%、良い12%

表4●稼働状況（遊技料金別）

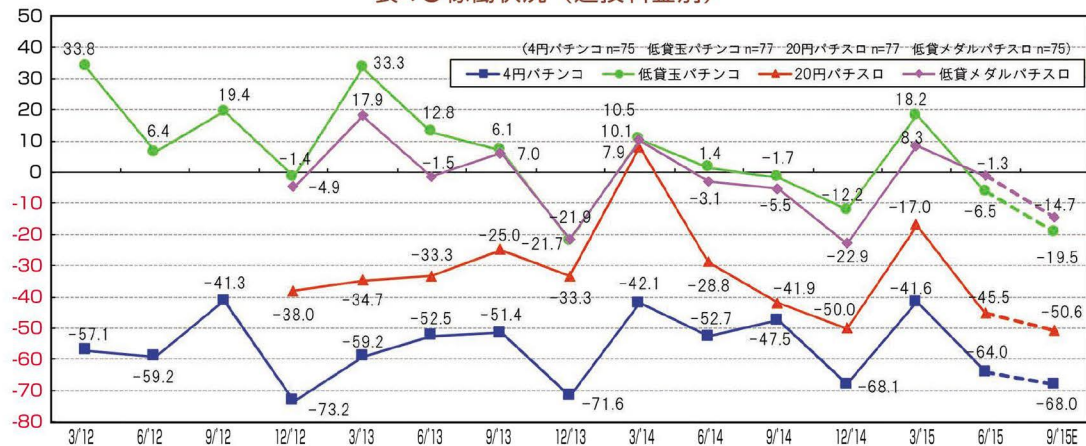


表5●トレンド・ウォッチ 通知の影響

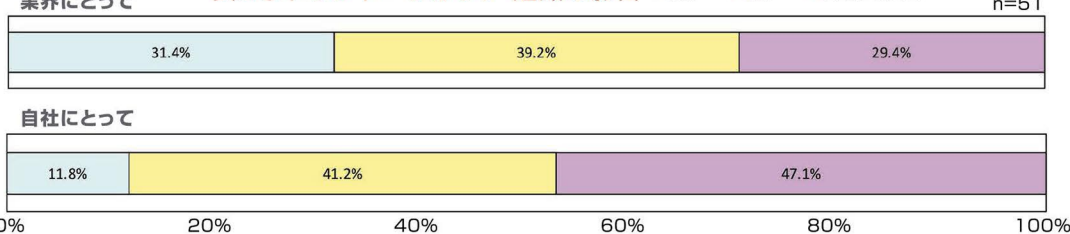
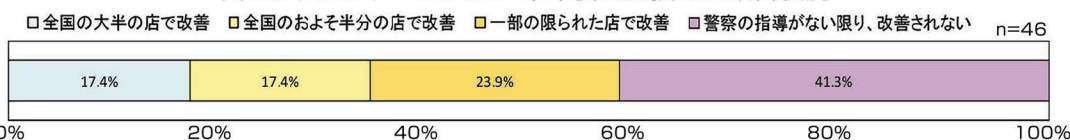


表6●トレンド・ウォッチ 半年後の遊技くぎ改善状況



《自社にとって》の影響では、「どちらでもない」が47・1%と最も多く、「悪い」が41・2%で続き、

改善に悲観的な見方

推進機構の調査開始から猶予期間を経た半年後、自浄努力で改善しているかの予想では、「一部の限られた店で改善」23・9%、「全国の約半分の店で改善」17・4%となったが、「警察の指導がない限り改善されない」が41・3%でダントツのトップを占め、やや悲観的な見方となった。（表6）

また、今後の営業での粗利減少の対応策（複数回答）については、3大経費（遊技機購入費、販促費、人件費）以外の「その他経費の抑制」が67・4%で1位。次いで「遊技機購入費の抑制」54・3%、「販促費の抑制」43・5%、「景品原価率を下げる」32・6%となった。